

アルパインスケッチクラブ創立30周年記念

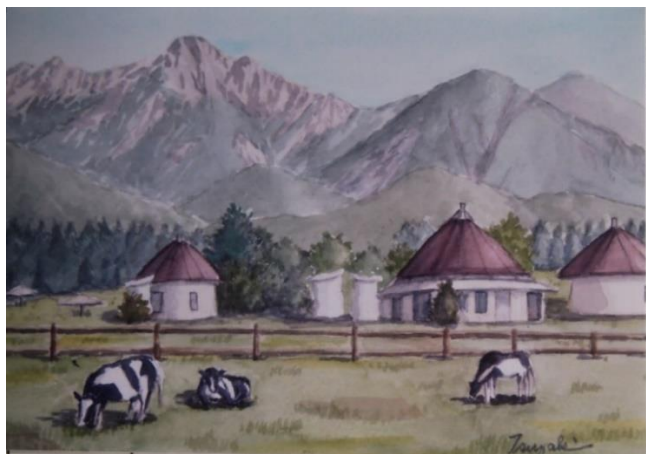
「2016～2020年 思い出のスケッチ集成」は、第30回山好きの山の絵展と併催で2021年2月21日～27日に東京交通会館エメラルドルームで開催の予定で、万端の準備が整っていたが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止のやむなきに至った。

これは幻になった記念展を保存する web 上のエメラルド展である。

第30回山好きの山の絵展併催 エメラルド展

出品目録

1	河童橋からの焼岳	田中正雄	25	南八ヶ岳 平沢峠より	長澤 登
2	白馬鑓ヶ岳と杓子岳	小出和子	26	白馬スケッチ山行にて	大村春樹
3	妙義山の山桜	富樫信樹	27	氷河湖	橋本久子
4	あこがれのマッキンレー	深川安明	28	晩秋の思い出	田村典子
5	劔岳	本間 渡	29	大正池にて	清水節美
6	男山	村尾元朗	30	富士山	佐藤暢子
7	八ヶ岳農場	都崎修男	31	大源太山	小松 忍
8	碧空の岩と雪	菅沼満子	32	吊橋から後立山	宇田俊二
9	ディアボレッツァ展望台	笠原 功	33	霊峰八海秋色	坂西徹朗
10	五竜岳	鈴木捷夫	34	ベッターホルン北壁を描く	青木惇子
11	さくらの里から妙義山	芳野菊子	35	河童橋付近からの焼岳	朝井紀久子
12	夕張岳	秋山典彦	36	間ノ岳 I	田中順
13	梓川からの焼岳	芳賀淳子	37	四姑娘山	渡邊嘉也
14	日光白根山山頂より	原山恵津子	38	新雪の焼岳	渡部温子
15	野沢温泉 ペンション・シューネ	堀江伸子	39	山ゆり	高橋てる子
16	新雪の焼岳	沼田希一	40	立山・別山	倉井登代
17	山高の神代桜	田中清介	41	ヒマラヤ・ヒマルチェリ峰(7,864m)東面	田辺 寿
18	バンガのロッジ跡に冥福を祈る	斎藤幹雄	42	焼岳冠雪	市毛三朗
19	親の原へ登路	杉田 博	43	上高地六白山	川 朋子
20	浅間山	丹野史子	44	Mt.Fuji	佐藤知恵子
21	八峰キレット	松本博子			
22	妙高山(いもり池にて)	富山 隆			
23	穂高	川村利子			
24	新雪の奥穂高	中川 久			



八ヶ岳農場

都崎修男

2020年度スケッチクラブ初めての山行で入笠山に行きそのまま八ヶ岳山麓に滞在してスケッチをした。八ヶ岳農場の牛達はコロナの蔓延にも関係なくのんびりと草を食んでいた。



男山

村尾元朗

2019年9月8日（日）朝、宿を出て男山に向かう。前日、平沢峠から見た男山は頂部がガレテいて、これが男山の理由かと思っていたが、小海線の広瀬駅を見下ろす道路から男山を見ると、その形はまったく違っていた。緑豊かな山であった。残暑の日差しの強い中、一気にその山を描いた。



あこがれのマッキンレー

深川安明

3年前に行われたアルパインスケッチクラブのマッキンレー・アラスカスケッチ山行に参加。デナリ州立公園内にある茅野さん宅のペンションをベースにして憧れのマッキンレー（デナリ）山のスケッチを楽しみました。ミッチー夫人の心のこもった美味しい料理に今でも感謝です。



焼岳冠雪

市毛三朗

コロナ騒ぎの中でしたが、新潟周りのフェリーで参加しました、途中、室堂平で立山連峰を描いたり、今まで登山の通過点だったところでゆっくり風景を眺めるという機会に巡り合いました。加齢とともに厳しい山行は困難になりますが、山の楽しみ方はいくらでもあるものだと思えます。雨上がりの感動的な上高地でした。



碧空の岩と雪

菅沼満子

快晴の岳沢の河原で、スケッチブックを広げた。見上げれば、踊るような岩の稜線と、その間を縫うように続く雪溪。西穂から奥穂に続く峰々を、遠い憧れを胸に秘め、描く者として、濃紺と鉄黒と白藍の織りなす雄大な景観の中にいる。2018年6月のある日の、充実したひと時であった。



五竜岳

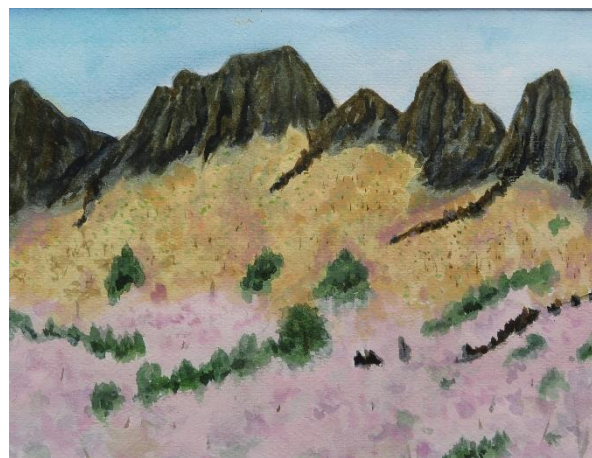
鈴木捷夫

スケッチ山行に久しぶりに参加した。旅の間天候に恵まれ、富樫さんの企画も良く楽しい三日間だった。針ノ木を中心とした雄大な風景、北アルプスの連嶺を眺めて何時もと同じ感動をした。この絵はその折りに寄った五竜の山麓からの絵で、五竜は何回か歩き登った山、民家から人声の聞こえて来るような気がした。



バンガのロッジ跡に冥福を祈る 斎藤幹雄

2012年11月エベレスト街道にゴーキョピークを目指しました。チョー・オ・ユーが迫るバンガのロッジ跡に1995年ここで雪崩遭難された入沢さん田辺さん石井さんのご冥福を祈りました。スケッチクラブの立ち上げに応援頂いた集会委員会の尊敬する先輩でした。ヒマラヤの高い空のもと、小林宗次和尚（この旅のリーダー・故人）の読経が冷たい空気に響いて涙が溢れて止まりませんでした。



さくらの里から妙義山

芳野菊子

第28期の幹事として最初に実施したのが、新人会員歓迎の群馬県立森林公園へのスケッチ山行でした。満開の桜と背後にそそり立つ妙義山の岩峰の間を萌え始めたブナの新芽が柔らかく繋ぎ、柔と剛のコントラストがみごとでした。



夕張岳 秋山典彦

北海道での初めての山スキーわくわくして出かけた。ケーブル駅からアイゼンをつけて板を担いで噴煙あがる焼岳の中腹まで登る。風は冷たく雪面は波の様に凍っているところもあった。あっという間下まで滑った。ホテルの展望室から朝食前に刻々と変る山と空の色。旭岳、夕張岳のスケッチを堪能した。



日光白根山頂より 原山恵津子

10日は、中禅寺湖畔の旧伊大使館見学後、雨の中シャーレ丸沼へ。翌早朝肌寒い中、上州武尊の残雪姿をスケッチ。ロープウェイ山頂駅から「山」の字姿の日光白根山をめざして残雪を越えゆっくり急登。大けが前の富樫さんも山頂へ。そしてド、ピカーンの360°大展望を全員心ゆく迄スケッチ。これぞ登って描くクラブの原点だった。



野沢温泉ペンション・シュネー 堀江伸子

スケッチクラブに入会して2度目のスキー山行は野沢温泉でした。20年ぶりに訪れたスキー場と温泉街はすっかりお洒落に変身しており、宿泊したペンションも雪の中に佇む景色はまるでヨーロッパの山小屋のよう。クラブの皆さんと美味しい食事とワインを楽しむのだ思い出の宿です。外壁に描かれた親子の鹿の絵が印象的でした。



新雪の焼岳 沼田希一

30周年・「秋の上高地スケッチ山行」に参加して10月18日（日）午前10時頃コロナ騒動の最中でも人通り多い河童橋・5千尺ホテル売り場前のベンチでおやきの匂いを嗅ぎながら、快晴のもと新雪の「穂高明神」とこの「焼岳」2枚（4号）を久しぶりにスケッチできました。



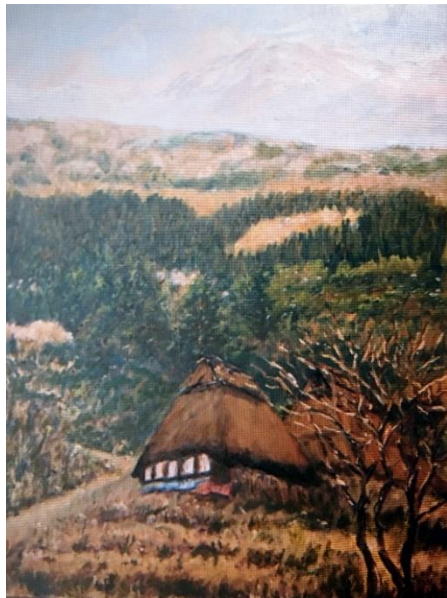
南八ヶ岳 平沢峠より 長澤 登

秋深まる或る日、初めて平沢峠に行ってみた。そこからは、冠雪の編笠山・権現岳・赤岳が一望でき、眼前に広がる大パノラマに感動したのを覚えている。



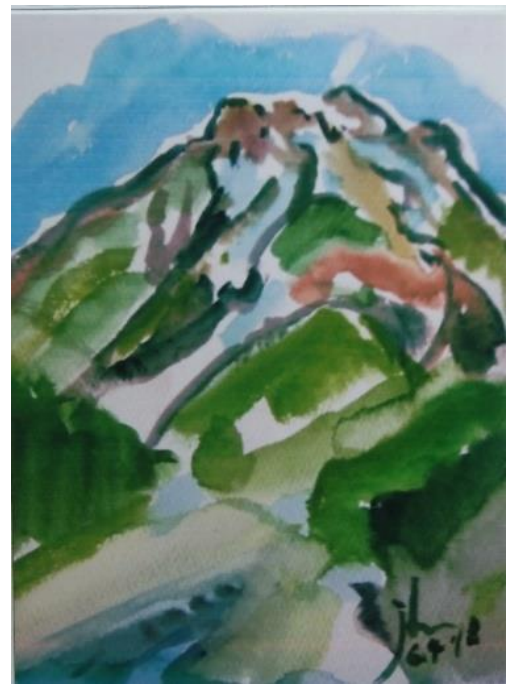
ディアボレッツァ展望台 笠原 功

とっておきスイス8日間のツアー旅行に参加しました。6日目、アルプス5大名峰ピッツベルニナ（4,049m）を望むディアボレッツァ展望台（2,978m）での1枚。スイス国旗が印象的だった。



親の原への登路 杉田 博

1964年の回想 山岳界では、はじめて年一隊に限り、海外登山を目的とする遠征隊を派遣することになり、文部省は各県より出てくる計画の審査を梶池で待った。その時の委員長は松方三郎氏であった。杉田は愛知県岳連隊の計画説明に立った。帰途、杉田は松方、三田幸男はじめ諸先輩の後に従い、親の原から大糸線の大池の駅までのこの道を下った思い出がある。わずか1万ドルの外貨使用を許可する大変な時代であった。日本も貧しく登山隊もまづしかった。



梓川からの焼岳 芳賀淳子

2018年6月の第1土曜日、恒例のウェストン祭に何年かぶりで参加するため、上高地を訪れていた。そこで予想通りスケッチクラブの皆さんと合流し、梓川から焼岳、河童橋からの穂高連峰のスケッチを楽しんだ。ウェストン祭にも参加できたのは最高の思い出になった。



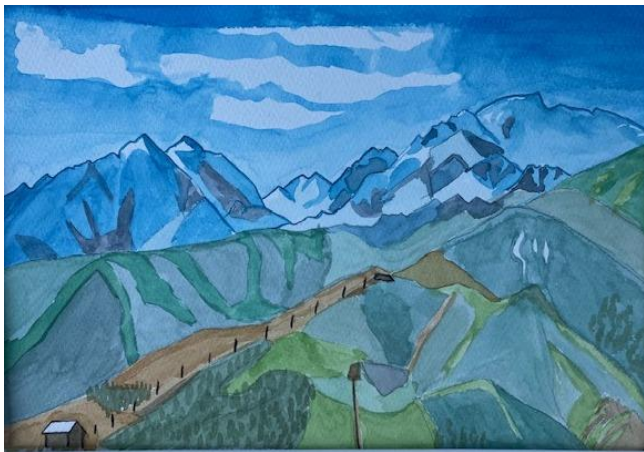
浅間山 丹野史子

2020年は家庭内感染を避けるため信州で、ほぼ暮らしていました。浅間高原や妙高高原をキャンバスを抱え歩き回り、数枚絵を仕上げました。春から夏は新緑で何もかもが緑に染まり夏は可愛い花々に蝶が飛び交い、秋は木の葉が金色に耀き、日本の四季がもたらす美しさをしみじみと感じた一年でした。



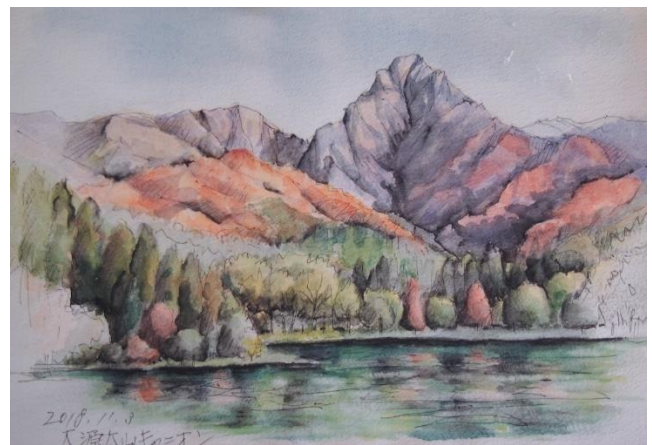
妙高山（いもり池にて） 富山 隆

大変楽しいスケッチ山行でした。①慶応山荘の設備・食事が良かった。②杉の原スキー場でのスケッチは寒かったが、黒姫山が迫力③いもり池もまた風情があり四季楽しめそう④いもり池から山荘への中川・菅沼さんとの雪中行軍もまた楽しからずや⑤赤倉観光ホテルでのホットワインの一杯が素敵でした。



八峰キレット 松本博子

スケッチクラブに入会した令和元年の山行で一番大変だったのが扇沢から入って爺が岳～鹿島槍ヶ岳～八峰キレット～五竜岳～唐松岳まで縦走した時だった。早朝、鹿島槍ヶ岳に登る途中でちらっと剣岳が見えた他はずっと霧の中を進んだ。その翌年、白馬山麓から空に屹立する鹿島槍ヶ岳～五竜岳を望めて、あの時の思い出が甦った。



大源太山 小松 忍

「大源太山」とは初めて聞く山名だった。どんな山だろう？と好奇心に誘われて参加する。山々の樹々は紅葉の真っ盛り、湿度は低く風は夕方になると少し冷たく感じたが、絶好のスケッチ日和に恵まれた。2日間。魚野川の橋からのもう1枚のスケッチと共に私の思い出のスケッチである。



新雪の奥穂岳

中川 久



山高の神代桜

田中清介

公園活動ステーション宿泊106号室2泊3
日起床5時。5時10分出発河童橋へ向かう、
まだ外は暗く、ヘッドランプを付けて、梓川沿
いの道を歩く。河童橋近くのベンチの有る場所
から、奥穂高の新雪の風景をスケッチする。岳
沢小屋の明かりが見えた。岳沢への登山道の方
向へザックを背負った、早立ちの人達が歩いて
行く。

北杜市・山高の実相寺境内にある桜の老木
は、「山高神代桜」といわれ、樹齢2000年
とか、それは見事なものです。ここにはスケチ
クラブで何度か訪れています。これは2017
年4月、仲間とのスケッチ旅行の際、老木にも
拘わらず力強く咲いている姿に魅せられて描い
たものです。



白馬スケッチ山行にて

大村春樹



氷河湖

橋本久子

2019年5月末、アルパインスケッチクラ
ブに入会して初めて参加したスケッチ山行で、
白馬村大出公園展望台から、ガスに見え隠れす
る白馬岳を皆さんがスケッチをしている様子
がとても印象的でした。

ロブチェ・ピーク（6,119m）に登頂し
たとき、アタックキャンプを張った場所に氷河
湖があり、この水を汲んで食事を作った。ま
さに命の水であった。登頂を果たした次の日は
大雪でこの日はずしたら登れなかったであろ
う。



晩秋の思い出

田村典子

昨秋、仲間と近郊・要害山に出掛けました。山頂からの眺望が素晴らしく賑やかな大宴会の後でしたが、スケッチを始めると皆黙々と筆を走らせ、美しい紅葉の山並みを思い思いに描きました。まだ素人スケッチですが、山に出かける楽しみが増えました。



大正池より

清水節美

天気予報がはずれ、晴天の上高地。大正池のバス停で下りる。美しい山々と清流、スケッチブックに山々の紅葉、美しい池を描く。翌日は、一日雨。大正池からの絵を仕上げる。3日目は河童橋から見る穂高は、初冠雪と紅葉で美しい。次回はこの絵を描こう。



富士山

佐藤暢子

入会して初めて参加したのが2017年5月20日「富嶽百景富士五湖からのスケッチ山行」です！その時は画材さえ持っていなく、参加されていた諸先輩方からいろいろ学ばせていただきました。あれから数年経ち画材は随分と揃いました。技術はまだまだ進歩の途上ですが、今回の機会をいただいたので、その当時を思い出しながら描かせていただきました。



河童橋付近からの焼岳

朝井紀久子

焼岳は登ってみたい山でした。上高地にて楽しみだったスケッチクラブ山行がありました。バスで大正池に到着後、最初に目に飛び込んだのが焼岳でした。実は、夕方の全体集合時間までに、可能なら登りたいと直前まで迷いましたが、私の脚では間に合わないと思い、今回は登りませんでした。山行最後の集合場所、河童橋付近で「来年登ろう」と胸高なりました。



吊橋から後立山 宇田俊二

懐かしい後立山連峰を背景に、大出公園吊橋からスケッチしました。
素晴らしいスケッチポイントでした。



穂高 川村利子

上高地には毎年おもに8月にここ20年行っているが秋に来たのは少ない。2020年の秋の山行は、前日は天気が悪かったが翌日は穂高が初冠雪でこのようにきらきら輝いた穂高は初めてで感動的でした。



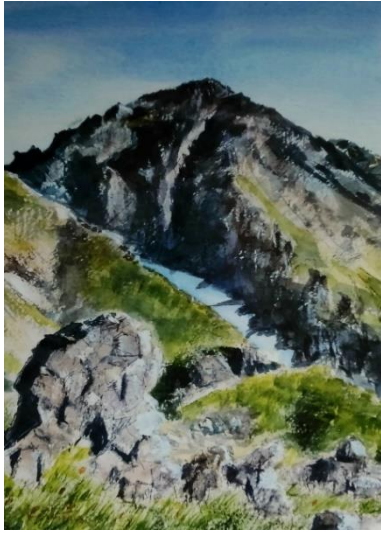
霊峰八海秋色 坂西徹朗

八海山を描く絵画愛好家は多い。山頂付近の凸凹を描けば誰れでも絵になる。八海山は麓の田園・集落を描き込だ方が良い。この山に降り積んだ雪は、広い水田を潤す。美味しい米をつくりの農民が信仰する山だから。東の間の好天に車を走らせスケッチをした。



間ノ岳 I 田中順

第28回の案内ハガキに使っていただいたスケッチ。友人と共に八本歯のコルを上り詰めて北岳頂上に至る直前、雲海の向こうに見えた間ノ岳を描いたもの。技術はメタメタだが、勢いで描いた分その場の雰囲気は少しは残せた気がする。下山後に同じ構図でIIを描いてみたが、その場の雰囲気はどうしても出せなかった。



劔岳 本間 渡

日本百名山の中でも劔岳は別格だ。岩と氷の殿堂だけあってピラミダルな山容はどこから見ても美しい。最近カニとヨコバイ・タテバイが渋滞するので元ヤマヤ3人で平日にのんびり登った。この絵は前剣あたりからスケッチしたものだ。



河童橋からの焼岳 田中正雄

アルパインスケッチクラブ 30 周年記念集会在クラブ創設発端の聖地上高地で開れた。快晴錦秋の岳沢かた吊り尾根を、続いて河童橋から焼岳を描く。雨の一夜が明ければ穂高・明神の稜線は初秋の装いに変身していた。季節の移ろい同様に、スケッチクラブの世代交代も鮮やかでありたいと、炉の日を囲む集会で思った。



ヴェッターホルン北壁を描く 青木惇子

ファイルストは正面にヴェッターホルン北壁の雄姿 雄大なシュレックホルンが際立って見え 続いてアイガー・メンヒ・ユングフラウと豪華五峰の対面にあります。もうここは雲の上、標高差800メートルを滑ったりスケッチしたり、全員元気に完走出来ました。バンザイ！



白馬鑓ヶ岳と杓子岳 小出和子

Go to を利用して普段は使わない白馬東急ホテル2泊3日の旅に出た。2日目は快晴に恵まれ、孫の取り立て運転免許でレンタカーを借り、安曇野山岳美術館・碓氷山武術館とわさび田を巡った。孫と娘がワサビ丼を注文している間に私はスケッチ、鹿島槍と連なる冠雪の山々を描いた。最後の日なんと白馬駅からの白馬鑓ヶ岳と杓子岳が素晴らしかった。



妙義山の山桜

富樫信樹

2017年7月24日に北海道の富良野岳で下山中にけがをしてヘリコプターで救助され旭川の病院に入院。2018年3月6日にリハビリの病院を退院後、4月13日にスケッチクラブの妙義山のスケッチ山行に妻の運転する車で参加する。妙義の岩肌の緑はまだ薄い、桜並木は満開で青空の下で久しぶりのスケッチを楽しめました。



山ゆり

高橋てる子

私は3年位体調不良のため欠席しましたので自分の考えで山ユリにしました。山は夫といつも一緒に登って北アルプスも丹沢もです。山男と言える夫は私とのトレーニング場に塔ノ岳でした。私は小駒止まで登り、夫は頂上まで行きます。私の居る駒止小屋のウラにドラムカンが2個ありとうとう水が流れていて美味しい。夏の終わり頃そのドラムカンに真白な山ゆりが2本に花がそれをボタニカル調に描きました。



四姑娘山

渡邊嘉也

四姑娘山の長女 "タークニャン" の登山基地「海子沟」は夢の花園であった。ガレ場の岩の間には天色の、草原では花紫の、そして前日の雪を被った可憐な芥子が咲いていた、青い芥子一つでは無かったです。山頂まで行けませんでしたが良い山旅でした。この絵は下山路最後の景勝地「日隆の丘」で仰いだ四姑娘山全山を描いたものです。



新雪の焼岳

渡部温子

2015年の八方尾根唐松岳のスケッチの時と同じ三日目は快晴。一晩で山々は雪山と変り輝いている。新雪の穂高も明神岳も良い。歩き回り河童橋に戻ると焼岳の全容が飛び込んでくる。雪が有り陽ざしをうけ影のない焼岳。上高地に滞在しないと見られない焼岳です。



立山・別山 倉井登代

26期計画「立山・剣御前」2泊3日。春、山笑う。雪解けの5月初旬です。山々は朝夕の冷気で締め、背景は光と雲で瞬時の風景を創る。この絵は早朝の立山高原ホテルからの別山と剣御前です。色彩が変化しないうちに彩色する醍醐味とリズムを感じ楽しい時でした。



久し振りの貴方<ヒマルチュリ>
2017. 12.4 田辺 寿

本当に久し振りに 貴方に会いに来たのに、貴方は深い霧の中。貴方のことだから、部厚い胸の上に鎧をまとったまゝ深い霧の中からじっと私を見下しているに違いない。握手するのか、部厚い貴方の胸に抱かれるのか、それとも さりげない挨拶でだけなのか、私のほうには言いたいことが一杯あるのに貴方は深い霧の中・・・



上高地 六白山 川 朋子

川村さんと一緒に歩いていて、「ここでいいね」と左側に穂高岳が見えているのに六白山に向かって座った。仲間の一人が「あらここが絵になると思わなかったわ」と言って通り過ぎた。私も初めて、しかし岩山は気になっていた。昔 霞沢岳に登った時、六白山へと行ったが、登山道はなく難しいと、スルーした記憶がよみがえったこの日は、紅葉は見ごろ、空は白い雲が散り広がって、趣があり楽しい雰囲気でした。



Mt. Fuji 佐藤知恵子

シンプルに描こうと試してみた時のスケッチです。標高目線が少し曖昧になったかも・・・。

